

編

輯

後

記

◎ 聖師の進むところ萬里敵なく、憂々の鏑蹄下險峻なく、堅陣なく、恰も神風の難ぎるが如し。敵が虎口とも頼む大別山系其他の要害も 大方我が掌中にあり、今や最後の據點たる武漢を指呼の間に一蹴せんとす。

◎ されど新興東亞の曙を見るまでにはまだ越えねばならぬ幾多の峻坂險路、我等は更に銃後の誓ひを守り、邁進よく長期抗戰の覺悟を新にし、勇躍躍起整備抗戰に備へんとす。

◎ かゝる秋、創刊日尙淺しと雖、前號に於いて千名突破と云ふ颯爽たる本誌の躍動、誠に慶賀に堪へない。

◎ 扱て、記念號に次ぐ本號の陣容を見るに、高田氏の「堰堤と基礎岩盤に就いて」は將來、滿洲國內數多の河

川處理を雙肩に擔はねばならぬ我等技術者に又と参考資料と信ず。ついで、米田氏の「寒中混凝土にて」及び源川氏に代り三浦氏の「第 8 回道路會議告」と共に前號に引き續き諸賢の等しく期待せらるのと信じてやまぬ。

◎ 此の外、武藤氏の「新京交通機關に就いて」等資料其他を掲載し得、編輯子聊か欣快を感じるもの。

◎ 是偏に會員各位の熱誠なる御指導、御鞭撻の賜管深謝する次第なり、今後共本誌育成の爲一段の進の程を希ふ。

康德 5 年 10 月 1 日印刷

康德 5 年 10 月 1 日發行 (非賣品)

發行者	新京特別市惠民路第 1 代用官舎 27 號	米田正文
編輯者	新京特別市隆禮胡同 509 號	大石義郎
印刷者	大連市若狹町三三番地	太田信三
印刷所	大連市若狹町三三番地	小林又七支店

新京特別市順天大街 交通部道路司内

發行所 滿洲土木研究會

口座番號 新京 1141 番